様式第２号（第５条関係）

発　言　者・会　議　の　て　ん　末　・　概　要
司会（関口課長）　本日はお忙しい中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます、久喜市社会福祉課長の関口と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 　それでは、本日は、新たな委員となって、初めての委員会でございますので、恐縮ですが私の方から、委員の皆様を名簿順にご紹介させていただきたいと存じます。 【委員紹介】 司会（関口課長）　委嘱書につきましては、あらかじめ委員の皆様にお送りさせていただいておりますのでよろしくお願いいたします。 　続きまして、事務局職員の紹介をさせていただきます。 【事務局紹介　社会福祉協議会】 【事務局紹介　社会福祉課】 司会（関口課長）　それでは初めに、本日の配付資料について確認をさせていただきます。 【資料確認】

それではただいまから令和６年度第１回久喜市健康福祉推進委員会を開会いたします

本日の出席委員数は、委員１０名中、８名でございますので、久喜市健康福祉推進委員会規則第３条第２項の規定にございます、定足数に達しておりますことをご報告申し上げます。

また、久喜市社会福祉協議会が設置する地域福祉活動計画策定推進会議におきましても、本委員会と同内容の議題を審議しておりますことから、事務局として、久喜市及び久喜市社会福祉協議会の職員が双方の会議に出席をいたしまして、足並みをそろえて進行して参りたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、会議の公開及び会議録の作成について委員の皆様にお諮りをいたします。本日お配りした資料ですが、「会議の公開、会議録の作成について」をご覧いただきたいと存じます。

本市では、久喜市審議会等の会議の公開に関する条例を定めており、会議を原則公開とすることや、会議録の作成、公開などが義務づけられておりますことから、本委員会につきましても、資料に記載の通り運営させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

【「はい。」と言う人あり】

司会（関口課長）　ありがとうございます。また、その会議録を作成する関係で、本日、会議録システムを使用しております。ただ今マイクでしゃべらせていただいておりますが、こちらのマイクを通して、会議

	録システムの方に音声が入り、会議録を作成するという形になりますので、本日、恐れ入りますが、発言に当たりましては、マイクを使用して発言をお願いしたいと存じます。 　事務局職員がマイクをお持ちいたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。 　それでは、開会にあたりまして、梅田市長からご挨拶を申し上げます。よろしくお願いします。
梅田市長	皆様改めましてこんにちは。久喜市長の梅田修一でございます。本日ご参会の皆様方には、日頃から市政運営に当たりまして、格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。 　さて、近年、少子高齢社会が進展していく中で、介護、子育て、災害時の要支援者の支援など、地域福祉の問題が増えております。それらの問題に対応するために、行政による福祉サービスの充実を図ってきておりますが、既存の公的サービスでは対応できない事例もあり、住民同士の繋がりや助け合いをはじめとした社会全体での支援が不可欠となっております。 　このような中、地域の支え合いによる福祉ともいえる地域福祉を推進していくことは大変重要なことであり、本市でも、令和５年度から令和９年度までを計画期間とする「第３次地域福祉計画・地域福祉活動計画」を令和５年３月に策定し、「ともに生き、ともに安心して暮らすことのできる地域社会づくり」を基本理念と定め、新たな支え合いの仕組みの充実を図っているところでございます。来年度はその中間期となるところでございます。 　委員の皆様におかれましては、約２年間、久喜市健康福祉推進委員会委員として、本市の地域福祉施策の推進のため、それぞれのお立場から忌憚のないご意見、ご提言等をお寄せいただきます

よう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、委員の皆様には、今後とも、本市の福祉行政の推進に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、ご挨拶といたします。どうぞ２年間よろしくお願いいたします。

司会（関口課長）　ありがとうございました。それでは次第の３、議事の（１）会長・副会長の選出に移らせていただきます。議長につきましては、久喜市健康福祉推進委員会規則第３条第１項の規定により会長が務めることとなっておりますが、本日は初めての委員会でございます。会長が不在となっておりますことから、会長が選出されるまでの間、仮議長として、梅田市長が会議の進行をいたします。梅田市長、よろしくお願いいたします。

梅田市長　　それでは、会長選出までの間、私が仮議長として進行させていただきますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。議事の（１）「会長・副会長の選出について」でございます。久喜市健康福祉推進委員会規則第２条第１項の規定により、会長、副会長各１名を委員の互選により定めることとなっています。会長の選出を行いますが、いかがいたしましょうか。

野口委員　　はい。こちら第３次地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定したときの会長でもあり、また福祉の現場にも幅広く精通されております、樋口委員を推薦いたします。

梅田市長　　ただいま、樋口委員さんの推薦のご意見がございましたが、いかがでしょうか。異議なしでいいですか。

【「異議なし。」と言う人あり】

梅田市長	それではご異議なしということでありますので、会長は樋口委員さんにお願いしたいと存じます。改めて樋口委員さんお引き受けいただけますでしょうか。
樋口委員	はい。
梅田市長	ありがとうございます。本人の承諾をいただきましたので、樋口委員さんを会長と決定をいたします。よろしくお願いいたします。 それでは会長が決定したので、仮議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。
司会（関口課長）	梅田市長ありがとうございました。誠に恐縮でございますが、梅田市長は公務がございますので、ここで退席をさせていただきます。 会長に就任されました樋口委員には、前の議長席にお移りいただきたいと存じます。 それでは、樋口会長に就任のごあいさつをいただきたいと存じます。樋口会長、よろしくお願いいたします。
会長（樋口委員）	ただいまご承認をいただき、当委員会の会長を仰せつかりました樋口でございます。前期に引き続きまして、会長を務めさせていただくことになり、身に余る光栄と皆様に感謝申し上げますとともに、身の引き締まる思いがしております。先ほど、司会の方からご紹介いただきましたが、私は現在、蓮田市にございます、社会福祉法人吉祥福寿会におきまして、特別養護老人ホーム吾亦紅、ケアハウスすずらん苑の事務長をしております。それ以前は埼玉県庁に３８年勤めまして、その間１６年ほど福祉に携わって参りました。県職員在職時には、出向という形で、合併前の鷲宮町に、３年間勤務をさせていただきました。

	その間、梅田市長さんを初めとして、現在の久喜市を構成いたします、旧の久喜市、菖蒲町、栗橋町の皆様からもたくさんの御恩をいただいたところでございます。そうしたことから、私自身としては、お礼奉公の意味を込めまして、委員の皆様方のご協力をいただきながら、引き続き、久喜市の皆様が住みなれた地域において、生きがいのある暮らしができるよう、また少しでもよりよい地域づくりに役立てるよう、微力でありますが、全力を挙げて努めてまいります。どうか皆様よろしくお願いいたします。
司会（関口課長）	ありがとうございました。それでは、この後の会議の進行につきましては、樋口議長にお願いしたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。
議長（会長）	それでは引き続き、副会長の選出を議題といたします。副会長の選出につきまして、どなたかご推薦、或いはご意見等ございますか。
野口委員	はい。民生委員として、見守りを初めとする、地域福祉活動を推進してくださっている岩間委員にお願いしてはいかがでしょうか。
議長（会長）	皆さん、ただいま岩間委員さんとのご推薦をいただきました。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。
	【「異議なし。」と言う人あり】
議長（会長）	異議なしということでございますので、副会長は岩間直美委員にお願いしたいと存じます。岩間委員さん、お引き受けいただけますでしょうか。
岩間委員	はい。

議長（会長）　ありがとうございます。それではご本人のご承諾をいただきましたので、岩間委員さんを副会長と決定させていただきます。よろしくお願いいたします。岩間副会長、副会長席の方にお移りください。

それでは、岩間副会長さんから就任のごあいさつをいただきたいと思います。お願いいたします。

副会長（岩間委員）　改めまして皆様、こんにちは。私本当にこちらの会議に初めて出させていただきまして、どんなことをするのかなっていうのはいただいた資料を、見させていただいたのですけれども、会議の委員会の内容が、民生委員の活動と、ほとんどかぶさっているので、民生委員の代表としてこちらに来させていただいている私としては、本当に力不足でありますが、委員の皆様のご協力と、お力添えをいただきながら、少しでも住みよいまちになるように、努力したいと思います。会長のお力に少しでもなれるように頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

議長（会長）　ありがとうございました。それでは議事の方に進めさせていただきます。（１）会長・副会長の選出につきましては以上となります。

続きまして議事の（２）「地域福祉計画・地域福祉活動計画について」を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

事務局（森岡補佐）改めまして皆様こんにちは。社会福祉課の森岡と申します。

私からは、議事の（２）地域福祉計画・地域福祉活動計画について説明させていただきます。その前に、少し健康福祉推進委員について説明をさせてください。資料の順番が逆になってしまって大変申し訳ありませんが、皆様にお配りしている資料３をご覧

ください。着座にて説明させていただきます。

本委員会は、久喜市総合福祉条例による、健康福祉施策の推進を図るため、地方自治法の規定に基づき設置された久喜市の附属機関になっております。活動の内容は、１つ目として、市長の諮問に応じ、総合計画に関する事項について、調査審議すること。総合計画といったものが、久喜市地域福祉計画・地域福祉活動計画といったものになります。２つ目として、健康福祉施策の推進に係る事項について、調査し、市長に必要な意見を述べることになっております。具体的には、計画策定に当たり、意見や提言を行うこと、また、策定した地域福祉計画・地域福祉活動計画が、計画通り実行されているのか、目標値などと照らし合わせながら、進捗状況を確認していただき、助言や提言をいただくといったものになっております。

２つ目として、委員の任期でございます。皆様、令和６年１１月１日から令和８年１０月３１日までの２年間、委員をお願いしたいと思っております。

３つ目として、委員の報酬でございます。委員会に出席をいただいいただきましたときに、日額6,000円の報酬をお支払いさせていただきます。報酬は、指定の口座に、所得税額を除いた額を振り込みさせていただいております。

続きまして４つ目として、委員の構成でございます。久喜市健康福祉条例第３５条第３項第４項に基づきまして、公募による市民の方３名、学識経験者の方７名、合計１０名で構成してございます。

続きまして地域福祉計画・地域福祉活動計画についてです。

久喜市地域福祉計画・地域福祉活動計画は、久喜市総合福祉条

例第９条で、社会福祉法１０７条に規定する、市町村地域福祉計画を基本に、市の健康福祉施策の推進に係る総合計画を策定しなければならないと規定されており、これに基づいて策定されております。この総合計画としての久喜市地域福祉計画・地域福祉活動計画は、久喜市社会福祉協議会が策定する市民やボランティア、NPO等の民間団体が自主的に取り組む実践計画としての地域福祉計画と一体に策定することによって、行政や市民、地域福祉団体、地域福祉活動団体、ボランティア、事業所など、地域に関わるものの役割や協働が明確化され、実効性のある計画づくりが可能となるものでございます。また公私協働計画として、中長期的視点に立った本市の地域福祉行政の運営と、市民の各種団体、ボランティアなど、民間の活動や行動の総合的な指針としての役割を担うものとなっております。

それでは皆様お手元の計画の概要版をご覧ください。この計画は、令和５年度から令和９年度までの計画期間とする第３次地域福祉計画・地域福祉活動計画として、令和５年３月に策定したところでございます。

まず１ページをご覧ください。基本理念が記載されております。「ともに生き、ともに安心して暮らすことのできる地域づくり」を目指し、計画を策定しております。誰もが住み慣れたこの地域で、普段の暮らしを幸せに暮らしていくためにどのような仕組みが必要で、そのために何に取り組んでいけばよいのかをまとめたものになっております。

続きまして、２ページをご覧ください。基本目標１として、「誰もがいきいきと自分らしく暮らすことができる地域づくり」を目指すため、重点施策１として、「地域福祉への関心を高めま

す」、重点施策２として、「地域福祉活動の担い手を育成します」を掲げており、これら重点施策の市の取り組み、あとは、社会福祉協議会の取り組みがそれぞれ挙げられております。

３ページをご覧ください。基本目標２として、「誰もがお互い様の気持ちで支え合う地域づくり」を目指すため、重点施策１として、「地域にあった支えあいの構築を図ります」、重点施策２として、「世代を超え、誰でも参加できる身近な地域活動の充実を図ります」を掲げており、これら重点施策の市の取り組みと、社会福祉協議会の取り組みがそれぞれ挙げられております。

続きまして４ページをご覧ください。基本目標３として、「誰もがつながり、一緒に取り組む地域づくり」を目指すため、重点施策１として、「複雑化・複合化した生活課題に対応するため、包括的な相談支援体制を構築します」、重点施策２として、「支援を必要とする人が適切な支援を受けることができるよう、わかりやすい情報提供を行います」、重点施策３として、「個々の活動をつなぐ仕組みをつくります」を掲げており、これら重点施策の市の取り組み、社会福祉協議会の取り組みがそれぞれ挙げられております。

続きまして、５ページをご覧ください。基本目標４として、「誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり」を目指すため、重点施策１として、「災害の備えや地域の見守り体制を強化し、孤立しない地域づくりを行います」、重点施策２として、「住み慣れた地域で自分らしく生活を送るために、福祉サービスの充実を図ります」を掲げており、これら重点施策の市の取り組み、社会福祉協議会の取り組みがそれぞれ挙げられております。これらが第３次地域福祉計画・地域福祉活動計画の概要となっておりま

す。

それでは、第３次地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について、私から市の取り組みについて説明をさせていただきます。資料１をご覧ください。計画に定められました基本目標及び重点施策に基づき、市の関係部署がそれぞれ実施しております主な取り組みを年度ごとに評価しております。本来であれば、早い時期に皆様に報告すべきところでありますが、この時期になってしまい大変申し訳ありません。なお、この事業は毎年、関係課が５段階で自己評価をしております。今回の資料は、令和５年度に実施した主な取り組みの評価を記載したものとなっております。令和５年度の主な取り組みとしては５５事業ございます。この５５事業でございますが、市の担当部署で順調に進んでいると評価している事業は、４０事業、概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点があると評価している事業は、１５事業でございます。本日は限られた時間のため、概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点があると評価している１５の事業のうち、４つの事業について説明をさせていただきます。

初めに２ページをご覧ください。「福祉への理解や福祉教育を促進」でございます。こちらは教育委員会生涯学習課が担当しております。

事業の内容は、社会福祉協議会や福祉施設と連携し、あらゆる世代を対象とした、福祉教育やボランティア活動など、体験学習を推進し、福祉への理解や関心を高めることを実施しています。

令和５年度は、市民大学の講座で、２年生が「在宅介護の現状について」、１・２年生で歳末助け合いの募金を実際に市内の商業施設で実施をしております。また１年生におきましては、「み

んなでつくろう福祉のまち」の３つの講座を開催しております。

高齢者大学の講義では、４年生で「障がいのある人の人権」、３年生で「家族と介護」の２講座を行っております。

これらの講座により、地域福祉の意義や重要性について理解が深まったが、担当課としては、これら、大学の生徒数の確保が近年、なかなか難しいという現状があるようでございます。生徒数を増やす工夫が必要という観点から、評価としては、概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点があると評価をしたところでございます。市民大学におきましては、各学年 10 名程度の学生数になっているようです。この学生の数を少しでも増やしたい考えがありまして、今年度は生徒の募集の際に、現役の学生の生の声を聞く機会を設けるなど、生徒募集に関して少し工夫を加えたといったところを確認しております。

続きまして、９ページをご覧ください。併せて５５ページの別表の指標３もご覧ください。「ボランティアや福祉人材の育成」でございます。こちらは、高齢者福祉課が担当でございます。

事業内容は、ボランティアとしての活動が期待される人材の発掘と経験や知識を地域に活かせるような支援についてでございます。こちらは、市民全体の介護予防事業として、はつらつ運動教室というものを、市内３９ヶ所で行っております。この事業の参加者に周知をして、はつらつリーダー（介護予防ボランティア）というもので、養成講座の受講を呼びかけております。令和５年度は、６人の受講の申し込みがありました。ただ、１１回の講座をすべて受講しなければいけないというものになっておりまして、最終的に、養成ができたのが１人となったものです。

評価としましては、介護予防事業を継続実施していくために

は、はつらつリーダーや介護予防ボランティアの養成は必要であるが、このリーダーの養成数を増やしていかなければいけないということから、概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点があると評価をしたところでございます。

この取り組みにつきましては、今年度は、１１回の講座の見直しをしているようです。講座の数を７回に見直しをして、受講生が１１人に増え、私が確認したところでは、今年度９人の養成予定だと、聞いております。来年度はこの指標が、１ではなく９になってくると思っております。

次に３０ページをご覧ください。併せて、５５ページの指標１２をご覧ください。「複雑化・複合化した生活課題に対応」でございます。

こちらは社会福祉課が担当でございます。事業内容は、包括的な相談支援体制を構築し、令和５年４月１日にふくし総合相談窓口を設置し、複雑化・複合化した課題の相談や、どこに相談したらよいのかわからない内容の相談を、ふくし総合相談窓口で受けるようにしております。

相談の内容は、子どもの就労について、家族について、子どものひきこもりについて、住宅の確保について、購入物の解約についてなど、幅広い内容となっておりまして、４２件の相談を受けました。相談者の硬い表情から、少しでも安心された表情になるように、話を聞きながら、必要な関係機関と連絡を取り合い、そちらにおつなぎをすることで、問題解決に寄り添ったところです。

大きな変化はないものの、現在も定期的に保健師の訪問が続いている、ひきこもりの相談を受けた経過もございます。目に見え

る進展はなかなかありませんが、継続していくことが大切だと感じております。相談を受けた内容につきましては、すべてにおいて、関係機関へつなぐことができましたことから、指標１２については、１００％という記載をさせていただきました。

ただ、評価といたしましては、始まったばかりの事業で、様々な知識の習得や経験のための研修への参加、関係機関との関係づくりをより一層重ねていきたいという考えがありまして、概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点があると評価をさせていただきました。

次に４３ページをご覧ください。「住民主体の見守り活動を推進」でございます。担当課は同じく社会福祉課でございます。事業の内容は、要援護者の見守りや登下校時の見守り活動の支援として、要援護者見守り支援登録台帳システムを活用して、住民基本台帳情報等を反映させた情報管理を行った上で、地域の支援者である、区長や民生委員・児童委員、自主防災組織の方々に、要支援者の情報提供を行っております。また地域の支援者を対象にした、要支援者見守り支援事業に係る合同会議を開催しておりまして、令和５年度は３日間、合計４回の実施をさせていただき、区長、民生委員・児童委員、自主防災組織の方など、合計３４６人の方にご参加をいただきました。

評価といたしましては、地域で要援護者の見守り活動が行われておりますが、要援護者見守り支援台帳に新たに登録がされた方が８７人でした。前年度の１４０人から５３人の減少といったところがあり、また、全体の登録者数も、令和４年４月１日で、２，９５０人から令和５年４月１日で２，８３３人と、１１７人の減少がありまして、概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点

や改善すべき点があるといったところの評価をさせていただきました。

今後も支援を必要としている方に、この事業の周知をしていき、１人でも必要な方に、情報を届けたいと考えております。

これら事業につきまして、目標値に達したもの、そうでないものもございますが、今後も事業実施につきましては、工夫を凝らしながら、地域福祉の充実に努めていきたいと思っております。

なお、各種事業におきまして、高齢化の問題や、活動についても、規模の縮小や見直しがあるようでございます。

これに関しては、担当課でも、なかなか対応に苦慮しているといった報告がありましたので、この場をお借りして皆様にも報告をさせていただきます。

以上をもちまして、私からの説明を終わりにさせていただきます。続きまして、社会福祉協議会からの説明となります。よろしくお願いをします。

事務局（渋谷係長）皆様こんにちは。久喜市社会福祉協議会の渋谷です。それでは私から社協の担当分について説明をさせていただきます。資料２、社会福祉協議会の取り組みをご準備ください。すみませんが着座にて説明させていただきます。

第３次計画では、社会福祉協議会が行うものとして、２０の取り組みを掲げております。各取り組みの内容は、この資料を開いていただいて、１ページから２０ページに各取り組みの内容が書かれております。令和５年度の概要といたしましては、社会福祉協議会の行う２０の取り組みのうち１９を、順調に進んでいると評価しました。最後のページの２０ページをご覧ください。

基本目標４の主な取り組み（２）各種サービスや事業の円滑実

施内容、①地域福祉事業や在宅福祉事業を円滑に実施についてです。この取り組みだけは、概ね順調に進んでいるが一部に不十分な点や改善すべき点があると評価をしたところです。理由としましては、社協で福祉有償運送事業を行っていますが、この事業は、車椅子に座ったまま乗り入れが可能な車両を社協が１台持っておりまして、それを利用して利用者さんを運送するといったものですが、この車両が老朽化していることから、概ね順調と評価をしました。なお、福祉有償運送事業については、令和６年度は利用者がなく、また、老朽化に伴って車両が廃車となったところです。資料２に関する説明は以上です。

続きまして資料１をお手元にご準備ください。資料１の５５ページ、５６ページですが、こちらに進捗状況を把握するための計画指標とありますので、こちらについて説明をさせていただきます。まず計画指標の別表ですが、一番右が担当課となっておりまして、その左が計画最終年度である令和９年度、もしくは年間の目標値となっております。令和５年度欄に実績値が記入してありますので、そちらと比較しながらご覧ください。この計画指標ですが、24 項目ありまして社協ではそのうち７つの指標を担当しております。このうち、年間の目標値に達しなかったのは、指標ナンバー４、５、７です。ナンバー４、ボランティアセンター登録新規団体数、目標値年３団体の新規加入、ナンバー５、ボランティアセンター登録新規個人数、目標値年１５名の新規登録ですが、令和５年度の実績値は、団体で１団体、個人で５名の新規登録があったところです。令和５年５月に新型コロナウイルス感染症が５類に移行したところですが、施設などでのボランティア受け入れは、まだまだ慎重だったことや、団体活動がコロナによっ

	て、停滞してしまったボランティアへの、関心をまだ取り戻せなかったことなどが要因と考えております。 　こうした結果を踏まえまして、令和６年度、今年度の話になってしまい恐縮ですが、ボランティア募集の周知に特に力を入れておりまして、令和７年１月末時点において、団体で５団体、個人で９名の新規登録をいただいているところで、すでに昨年度の実績値は上回っているところです。 　続いて、計画の指標ナンバー７、久喜元気サービス新規登録協力会員数です。目標値年１０名の新規加入に対して、令和５年度は９名で目標値には至りませんでしたが、概ね目標値に近い値は達成していると把握し、認識しているところです。 　社協からの令和５年度の進捗状況に関する説明は以上となります。
議長（会長）	ありがとうございました。ただいま、事務局から説明がございましたが、ご質問ご意見等はございますか。
小杉委員	よろしいですか。
議長（会長）	小杉さん、よろしくお願いします。
小杉委員	私初めてですので、皆さんご存じで、そう思われないのかもしれませんけど、市民目線ということで少しお話をしたいのですけども。今、市の取り組みで事業評価ということで、市の方でやっているのだと思います。その中で見てみますと、書き方の問題ですけども、市民の目から見るとこの内容が何なのか、事業の内容が何なのか、それから実績が何なのか、事業評価がなぜ順調なのかがすごくわかりにくいですね。空白が多いです。書けないってわけではないと思います。ですから、市民の方に事業内容がこういうもの、それから実績はこうですなどと、もう少し具体的に記

	入していただきたいと思います。ホームページを見ましたが、市役所全体的にこういう書き方で、すごく簡略的で、市の方とか専門の方はわかっておられるのでしょうが、市民目線で見ると、すごくわからない。今説明を受けたことを余白があるはずなので、書いていただきたい。一番下の進捗状況についてなぜ順調なのか、その理由がわからないです。なぜかというと、今までの推移だとか、実績だとかそれが書いていないからわからないのです。先ほど社協さんが、最後の資料で目標はこうだったから順調ですよとか、目標を達成しなかったからこうですなどの理由が何も述べていなく、ただ単に順調ですよとその年のだけで述べておられるので、市民目線からするとわからない。事務局の方は去年こうだったとか今までどうだったか、頭の中でわかっておられるから、そういうことになっているのかなと思うので、きっと６月の決算が終わってから、事業評価ってことで夏以降、各課で書かれると思いますが、全庁的にそういう書き方っていうことで、部長さんもいらっしゃることですから、部長会議などで挙げていただいて、せっかく出すのであればもっと細かくわかりやすくしていただければなと思います。これでは、市民の立場から言うとわからないですね。よろしくお願いしたい。
議長（会長）	ありがとうございます。小杉委員さん、令和６年度の報告に向けてのご要望ということでよろしいですか。
小杉委員	そうですね。これを全部、説明してくださいって言っても時間もないでしょうから、これはもう仕方ないので、来年度以降はそうしていただかないと、来年私の方でまたこれどうなっているのかと細かく聞かなければならなくなりますので、今も概ね順調に進んでいるものを、抜粋だけの説明で全部は説明していただいて

ないわけですから、そういった意味で、説明を受けなくてもわかるように書いていただいて、それでどうしても足りない部分については事務局の方から説明してもらい、質問させていただくとかというような形にしないと、きりがなくなってしまいます。せっかくこれだけの余白があるので、もうちょっと細かくきちんと、何人参加したのかとか、何とか団体６団体とその６団体がどこなのかとか、何をしているのか、何に対して補助金を出したなど全然わからない。そのあたりをもう少し詳しく書いていただければと思います。

議長（会長）　ありがとうございます。事務局の方にお話をさせていただきますが、会長としても、今小杉委員さんのご提案がありました６年度に向けてのご要望、きっちりと受けとめていただいて、文章について、さらに精査したものを、６年度の取り組み結果としてご報告いただけるようお願いしたいと思います。

小杉委員　市役所さんが変わればきっと社協さんも変わると思います。社協さんは市役所に準じていると思うので。社協さんが先に変わるってわけにいかない部分もあるかもしれません。その辺で強調していただいて、逆に市役所があんまり書かないようだったら社協さんから発破をかけていただければと思いますのでよろしくお願いします。

事務局（森岡補佐）承知いたしました。ありがとうございます。

議長（会長）　小杉委員さん、ありがとうございました。それでは時間も差し迫っておりますので、続きまして議事の（３）「その他について」を議題といたします。事務局から何かございますか。

事務局（森岡補佐）私から３点、お話をさせていただければと思います。まず１つ目になります。公職者名簿への登載についてです。公職者名簿と

は、民生委員・児童委員とか、各種審議会等の委員の方々を記した名簿となっております。この委員会の委員の皆様も、公職者名簿に掲載がされ、公職者名簿は公文書館の閲覧室などで、誰でも閲覧ができるようになってきます。この名簿には、お名前の他、住所、電話番号も記載することができるようになっておりますが、個人情報のこともありますので、委員の皆様に了解が得られた場合は掲載しようと考えております。住所、名前、住所電話番号を非公開としたい場合には後程、私の方にご連絡をいただけると助かります。どうぞよろしくお願いいたします。

２つ目です。委員報酬についてです。先ほど、委員報酬について少しお話をさせていただきました。振り込みをさせていただきますが、指定の振込口座を、今回公募の３人の方に教えていただきたいと思っております。後程用紙をお渡ししますので、私のところにお帰りの前にお立ち寄りいただければと思います。

３つ目です。次回の委員会の開催ですが、先ほどの小杉さんの意見も踏まえまして、今年の 10 月ぐらいをめどに開催をしたいなと思っております。開催の１ヶ月前までにはお知らせをしますので、どうぞよろしくお願いをいたします。私の方からは以上になります。

議長（会長）　ありがとうございます。次回 10 月をめどに開催とのことですので皆さん、ご予定の方をよろしくお願いしたいと思います。私の方から１点、公職者名簿の関係ですけれども、住所、電話番号の記載はあんまり希望される方はいないと思いますが、名前だけならよいという方は手を挙げていただいて。どうでしょうか。名前だけということで。

【「はい。」と言う人あり】

事務局（森岡補佐）はい。わかりました。ありがとうございます。

議長（会長）　それでは議事の３につきましても以上ということでよろしいでしょか。

小杉委員　よろしいですか。

議長（会長）　はい、どうぞ。

小杉委員　確認ですけれども、この会議は公開ですよね。ホームページがリニューアルしたせいなのかもしれませんけども、ホームページと広報の方には、これ傍聴ができることを載せてあるのでしょうか。

事務局（森岡補佐）広報紙には記載していません。

小杉委員　ホームページにはどうですか。それをちょっと確認していただいて、リニューアルしたせいかもしれませんが、今載っていないです。私の検索の仕方が悪いのかもしれませんけれども。

事務局（森岡補佐）わかりました。確認します。

小杉委員　傍聴に来る方って少ないのかもしれません。今日もゼロということで、どの委員会も０人が多いです。教育委員会を今度やるのも１週間前に載せたりしているので、普通の市民の方は１週間前では傍聴できないですよね。日程的な問題があるかと思いますけども、早めの掲載をしていただきたいと思います。

事務局（森岡補佐）わかりました。

小杉委員　それと、ホームページの件で言うと、前回の議事録が載っていましたが、新しくなって載っていないみたいです。ですからそれを確認していただいて、他のところ見ると他のところは載っているところもあるので、更新のときに載せ忘れなのかもしれないで

す。

事務局（森岡補佐）今回の会議に関しては、議事録をしっかり載せる予定になっております。

小杉委員　　過去のものです。

事務局（森岡補佐）はい。わかりました。確認しておきます。

小杉委員　　ホームページをリニューアルしたから全部さらにするのではなく、前のものの経過も見たい方のいると思いますので、載せていただきたいと思います。これも要望ということでもう一度確認していただきたいと思います。よろしくお願いしたいと思います。

議長（会長）　　いずれにしても今日冒頭でありました会議の公開、会議録の作成等の中の趣旨といたしまして、今小杉委員さんの言われたものを確認していただいて、対応していただくということでお願いしたいと思います。小杉さん、よろしいですね。

小杉委員　　はい。

議長（会長）　　ありがとうございます。それでは本日の議事はすべて終了ということでよろしいでしょうか。円滑な議事運営にご協力をいただき、ありがとうございました。これをもちまして、議長の任を解かせていただきます。

司会（関口課長）　樋口会長ありがとうございました。それでは閉会にあたりまして、岩間副会長よりご挨拶をお願いしたいと存じます。

副会長（岩間委員）皆さん、事業報告と、活発な小杉委員からのご意見やご要望いただきまして、充実した会議になったかと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。これにて第１回の健康福祉推進委員会を閉会といたします。お疲れ様でございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和　7年　4月　8日　　樋　口　勝　啓

審　議　会　等　会　議　録

(注)特に署名等を要しない審議会等については、事務局名を記入する。